

# 日本語課外補講報告（2012年4月～2013年3月）

濱田美和

## 1 はじめに

日本語課外補講は、富山大学に在籍する外国人留学生及び外国人研究者であれば誰でも受講できるプログラムである。日常生活や大学での学習・研究活動に必要な日本語の習得を目指して、初級、中級、上級の3つのレベル別クラス、及び、中級・上級クラスの共通科目「漢字」を開講している。2012年度は、前期（2012年4月～9月）と後期（2012年10月～2013年3月）にそれぞれ15週間開講した。

以下、2012年度日本語課外補講の実施状況について報告する。なお、2005年10月に富山大学（五福キャンパス）、富山医科薬科大学（杉谷キャンパス）、高岡短期大学（高岡キャンパス）の3大学が再編・統合したことにより、富山大学で実施されている日本語課外補講は、五福キャンパスにおいて留学生センターが実施するものと、杉谷キャンパスにおいて医学部所属の日本語・日本事情担当教員が中心となり実施するものとの2つとなったが、本稿では、五福キャンパスで留学生センターが実施している日本語課外補講について報告する。

## 2 受講者

前期は、初級クラスが10人、中級クラスが15人、上級クラスが37人（うち2人は中級クラスも同時に受講）、計60人が日本語課外補講を受講している。60人の在籍身分別の内訳は、大学院生25人、研究生14人、特別聴講学生12人、科目等履修生（県費留学生）、教員研修生各3人、特別研究学生2人、日本語・日本文化研修留学生1人となっている。国・地域別の内訳は、中国41人、韓国5人、チェコ3人、ベトナム、ロシア各2人、インドネシア、ガーナ、カメルーン、台湾、バングラデシュ、ブラジル、ラトビア各1人となっている。また、所属別の内訳は、理工学教育部19人、経済学部12人、人文学部9人、経済学研究科5人、芸術文化学部、人間発達科学研究科各4人、人間発達科学部3人、工学部、人文科学研究科各2人となっている。

後期は、初級クラスが7人、中級クラスが15人、上級クラスが35人、計57人が日本語課外補講を受講している。57人の在籍身分別の内訳は、大学院生21人、研究生、特別聴講学生各11人、特別研究学生、科目等履修生各4人（科目等履修生4人のうち3人は県費留学生）、日本語・日本文化研修留学生3人、教員研修生2人、学部生1人となっている。国・地域別の内訳は、中国35人、韓国6人、ロシア4人、カメルーン、タイ、ベトナム各2人、インド、インドネシア、ガーナ、台湾、ブラジル、マレーシア各1人となっている。また、所属別の内訳は、理工学教育部15人、人文学部13人、経済学部、経済学研究科各7人、工学部5人、人間発達科学部、人間発達科学研究科各3人、理学部、人文科学研究科、芸術文化学研究科、生命融合科学教育部各1人となっている。

なお、日本語・日本文化研修留学生、及び、協定校からの短期留学生については、日本語課外補講上級クラスで開講している科目を、総合日本語コースの科目として受講している（詳細は、総合日本語コース報告、短期留学生報告を参照）。

## 3 授業担当者

前期、後期ともに、センター専任教員4人（加藤扶久美、後藤寛樹、副島健治、濱田美和）、及び謝金講師（日本語研修コースとの合同授業については非常勤講師）8人（加藤敬子、高島智美、中河和子、永山香織、藤田佐和子、松岡裕見子、要門美規、横堀慶子）が授業を担当した。前期、後期ともに濱田美和がコーディネートをを行った。

## 4 授業日程

前期は2012年4月9日(月)～7月26日(木)を授業期間とした。曜日調整のため、7月17日(火)は月曜日の授業、7月25日(水)は金曜日の授業を行った。後期は2012年10月10日(水)～2013年2月8日(金)を授業期間とした。12月25日(火)～1月4日(金)は冬季休業、1月18日(金)は大学入試センター試験準備日のため、休講とした。また、曜日調整のため、11月22日(木)は金曜日、1月16日(水)は月曜日の授業を行った。

オリエンテーションは、前期は4月5日(木)、後期は10月4日(木)に開催した。専任教員5人(出原節子、加藤扶久美、後藤寛樹、副島健治、濱田美和)がオリエンテーションを行った。オリエンテーションの案内は、留学生センターのホームページに掲載する他、日本語、英語、中国語の3カ国語表記で作成したポスターを五福キャンパス内の各学部及び留学生センター談話室に掲示し、また、学期初めに発行される留学生センターニュースの掲示板でも紹介した。留学生センターのホームページでは、時間割や授業概要(日本語、英語、中国語版を用意)の閲覧、それから、受講申請書とふりがな入りの時間割もPDFファイルとしてダウンロードできるようになっている。オリエンテーションでは、受講希望者一人一人とセンター専任教員が面接し、受講者の日本語の習熟度に応じたクラスを紹介し、受講申請書の提出により、登録を行った。ただし、来日時期が遅れる学生等については、コーディネーターが面接を行った上で、開講期間の途中からの受講も認めた。

## 5 授業内容

### 5.1 時間割

前期、後期ともに週35コマ授業を行った。前期の時間割を表1、後期の時間割を表2に示す。

表1 2012年度前期 日本語課外補講時間割

曜	限	初級クラス	中級クラス	上級クラス
月	1	文法(加藤敬)	文法A(高島)	
	2	文法(加藤敬)	文法A(高島)	表現技術1(濱田)
	3	語彙・表現(加藤扶)	[中級・上級クラス共通]漢字1(高島)	
火	1	文法(要門)	聴解(濱田)	
	2	文法(要門)	会話(副島)	会話1(松岡)
	3	聴解(濱田)		作文1(松岡)
	4			読解A1(藤田)
水	1	文法(横堀)	文法A(中河)	
	2	生活日本語(加藤扶)	文法(横堀)	文法A(中河)
	3	文字・漢字(加藤扶)		日本文化1(中河)
木	1	文法(高島)	文法B(副島)	
	2	生活日本語(要門)	文法(高島)	文法B(副島)
	3			聴解1(要門)
	4			文法1(要門)
金	1	文法(永山)	文法B(松岡)	
	2	文法(永山)	文法B(松岡)	読解B1(遠藤)
	3	会話(後藤)		

\* 1限 8:45～10:15, 2限 10:30～12:00, 3限 13:00～14:30, 4限 14:45～16:15

\* 網掛けの授業科目は、日本語研修コースとの合同授業

表2 2012年度後期 日本語課外補講時間割

曜	限	初級クラス		中級クラス	上級クラス
月	1		文法(加藤敬)	文法A(高島)	
	2	生活日本語(加藤扶)	文法(加藤敬)	文法A(高島)	表現技術2(濱田)
	3		聴解(加藤扶)	[中級・上級クラス共通]漢字2(高島)	
火	1		文法(要門)	聴解(加藤扶)	
	2		文法(要門)	会話(副島)	会話2(松岡)
	3	生活日本語(要門)	語彙・表現(藤田)		作文2(松岡)
	4				読解A2(藤田)
水	1		文法(横堀)	文法A(中河)	
	2		文法(横堀)	文法A(中河)	
	3		文字・漢字(加藤扶)		日本文化2(中河)
木	1		文法(高島)	文法B(副島)	
	2		文法(高島)	文法B(副島)	
	3				聴解2(要門)
	4				文法2(要門)
金	1		文法(横堀)	文法B(松岡)	
	2		文法(横堀)	文法B(松岡)	読解B2(遠藤)
	3		会話(後藤)		

\* 1限 8:45～10:15, 2限 10:30～12:00, 3限 13:00～14:30, 4限 14:45～16:15

\* 網掛けの授業科目は、日本語研修コースとの合同授業

## 5.2 初級クラスの授業内容

前期,後期ともに,月曜日から金曜日まで毎日午前中2コマ連続で「文法」の授業と,午後に「聴解」,「会話」,「文字・漢字」,「語彙・表現」の授業を各1コマ行った。また,毎日日本語の授業に出席することが困難な学生のために,「生活日本語」の授業を週2コマ設けた。

週10コマの「文法」の授業では,『みんなの日本語 初級』I, II(スリーエーネットワーク)をメインテキストとして,教科書を1日1課ないしは2日に1課のペースで初級文型の導入及びその定着のための練習を行った。授業の最初に,『毎日の発音練習』(独自開発教材)を用いた発音練習も適宜取り入れた。

表3 初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度

第1週	1課～4課		第9週	30課～32課	
第2週	5課～7課	1課～6課試験	第10週	33課～35課	26課～32課試験
第3週	8課～11課		第11週	36課～38課	
第4週	12課～14課	7課～12課試験	第12週	39課～41課	33課～38課試験
第5週	15課～18課		第13週	42課～45課	
第6週	19課～22課	13課～18課試験	第14週	46課～48課	39課～45課試験
第7週	23課～26課		第15週	49課～50課	日本語能力試験
第8週	27課～29課	19課～25課試験		復習	旧3級模擬試験

「聴解」の授業では,『毎日の聞き取り50日』上,下(凡人社),『絵とタスクで学ぶ日本語』(凡人社),『わくわく文法リスニング99』(凡人社),『楽しく聞こう』I, II(凡人社),『日本語きいてはなして』Vol.1, Vol.2(ジャパンタイムズ),『Situational Functional Japanese』Vol.1, Vol.2, Vol.3(凡人社),

『みんなの日本語初級 聴解タスク 25』(スリーエーネットワーク)の CD やテープを用い、初級クラス「文法」(『みんなの日本語 初級』)の授業進度に合わせて、聴解練習を中心に行った。

「会話」の授業では、午前の「文法」の時間に学んだ文法事項を使って、特に話す力を身につけるための応用練習を行った。

「語彙・表現」の授業では、午前の「文法」の時間に学んだ語彙や表現をより正確に理解し、正しく使えるようになるための練習を中心に行った。

「文字・漢字」の授業では、前期は『留学生のための漢字の教科書 初級 300』(国書刊行会)、後期は『ストーリーで覚える漢字 300』(くろしお出版)をメインテキストとして、1日の授業で1課進むペースで、ひらがな、カタカナ、漢字の読み書きの練習を中心に行った。

週2コマの「生活日本語」の授業では、『JAPANESE FOR BUSY PEOPLE』I(講談社インターナショナル)をメインテキストとして、1日の授業で1課進むペースで初級文型の導入及び会話力を伸ばすための練習を中心に行った。

なお、前期については、月曜2限開講予定だった「生活日本語」を、高岡キャンパスからの受講者のスケジュールにあわせて、5月の連休明けから水曜2限に変更するとともに、4月分の授業内容について補講を行うなどのサポートを行った。そして、後期については、木曜2限開講予定だった「生活日本語」を受講者のスケジュールにあわせて、第2週目以降火曜3限に変更した。

### 5.3 中級クラスの授業内容

前期、後期ともに、午前中週2日2コマ連続で「文法A」と「文法B」の授業を行い、1日は「聴解」と「会話」の授業を各1コマ行った。

「文法A」の授業では『ジェイ・ブリッジ』(凡人社)をメインテキストとして、3日(6コマ)の授業で1課進むペースで、中級の文型や表現を導入し、それらを大学生活で遭遇する場面や様々なトピックに合わせて、運用できるよう談話練習なども行った。一方、「文法B」の授業では『日本語中級 J 301』、『日本語中級 J 501』(スリーエーネットワーク)をメインテキストとして、『日本語中級 J 301』は1日(2コマ)の授業で1課進むペース、『日本語中級 J 501』は2日(4コマ)の授業で1課進むペースで、それぞれ中級の語彙や文法事項を導入し、主に読解の力を伸ばすための練習を行った。

「聴解」の授業では、前期は『日本語生中継・初中級編』1, 2(スリーエーネットワーク)、後期は『毎日の聞き取り 50日 中級』上, 下(凡人社)、『新・毎日の聞き取り 50日 中級』上, 下(凡人社)を用い、中級の語彙や表現を確認しながら、聴解練習を行った。

「会話」の授業では、「文法」の授業でのメインテキスト『日本語中級 J 301』、『日本語中級 J 501』を部分的に用いて、話し合いの練習やプレゼンテーションの練習を中心に、大学生活や日常生活で出会う場面に応じた日本語を使って、適切に話すための練習を行った。

### 5.4 上級クラスの授業内容

前期、後期ともに、「読解」の授業を週2コマ、「作文」、「聴解」、「会話」、「文法」、「表現技術」、「日本文化」の授業をそれぞれ週1コマ行った。上級クラスの授業は、2期連続して受講する学生のために、以前から前期と後期で扱うテーマや教材等を変えて対応していたが、平成22年度より前期は科目名の末尾に「1」、後期は「2」を付けて、それぞれの違いを科目名でも表すことにした。ただし、授業目的や進め方等の授業概要は同じであるため、以下、まとめて報告する。

「読解」の授業は、「読解A」と「読解B」の2科目を設け、「読解A」は前期は『生きた素材で学ぶ中級から上級への日本語』(ジャパントイムズ)、後期は新たに『新完全マスター読解 日本語能力試験N1』(スリーエーネットワーク)をメインテキストとし、発音の指導、表現や文型練習なども取り入れながら読解練習を行った。「読解B」は、現代日本社会の問題を扱った新聞記事、文学作品、教養書などの

生教材を利用し、初めに論理構成を把握させ、効率的な読みの練習を心がけた。ブックレポート作成の練習も行った。

「作文」の授業では、コンピュータを使用しながら、レポートや論文を書く際に必要となる論理的な文章の書き方の練習を行った。『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』（スリーエーネットワーク）、『大学・大学院留学生の日本語4 論文作成編』（アルク）等を参考書とし、練習問題等はワープロ文書で提供した。

「聴解」の授業では、日本語の聴解教材とあわせて、テレビやラジオ、インターネットなど、様々なメディアを用いて、大学生活や日常生活に必要な聴解練習を行った。

「会話」の授業では、ロールプレイ等の会話練習等を通して、大学生活や日常生活で出会う場面、状況での会話力を伸ばす練習を行った。また、様々なトピックについて日本語で的確に説明・描写する練習、意見や感想を述べる練習を行った。

「文法」の授業では、前期は『新完全マスター文法 日本語能力試験N1』（スリーエーネットワーク）、後期は『日本語能力試験N1・N2 試験に出る文法と表現』（桐原書店）をメインテキストとし、大学での学習、研究生活に必要な上級レベルの文法・表現について、演習形式で確認した。日本語能力試験の受験対策もあわせて行った。

「表現技術」の授業では、目上の人とのやりとりや、不特定多数の人に対して情報発信する際に必要となる、フォーマルな場で用いられる日本語の表現を確認した後、メールやメモなど日常的・実用的な文章の書き方やプレゼンテーション・スライドを利用した口頭発表の練習を行った。

「日本文化」の授業では、テレビ番組、アニメ映画、漫画、新聞・雑誌記事、自治体広報などの様々なメディアを使用して、震災と日本、日本の中の外国人、ジェンダー、ポップカルチャーといった視点から現代日本社会の問題を考えた。

## 5.5 中級・上級クラス共通科目「漢字」の授業内容

「漢字」は、中級・上級クラスの共通科目として、前期、後期ともに週1コマ授業を行った。教科書には『漢字1000PLUS INTERMEDIATE KANJI BOOK』Vol.1, Vol.2（凡人社）等を使用した。非漢字圏の学生には、読み方、書き方及び意味・用法の全体的な指導を行い、漢字圏の学生には、読み方と意味・用法の確認を中心に、様々な話題について書かれた文章を読み、そこで用いられている漢字語を学ぶことで、更なる語彙の拡充を図った。クラスには異なるレベルの学習者が混在しているため、一斉授業ではなく、時間を区切ってそれぞれのレベルに合わせた指導を行っている。

## 6 試験

初級クラス「文法」、「聴解」、「会話」では、7回の定期試験を実施した。定期試験の内容は、筆記試験、聴解試験、会話試験で、いずれの試験も日本語研修コース初級クラスと同じものを使用した。初級クラス「語彙・表現」では期末試験を実施し、「文字・漢字」では毎回の授業で確認テストを実施した。中級クラスでは、「文法A」は2回の定期試験、「文法B」は3回の定期試験、「聴解」は期末試験を実施し、「会話」は授業中に発表を課した。上級クラスでは、「読解A」、「読解B」、「会話」、「文法」は期末試験を実施し、「作文」、「聴解」、「表現技術」、「日本文化」は期末レポートあるいは発表を課した。中級・上級クラスの共通科目「漢字」では毎回の授業での確認テストと2回の定期試験を実施した。

## 7 授業評価

日本語課外補講の受講者に対して、授業内容とカリキュラムに関するアンケート調査を前期と後期の授業期間中に実施した。授業内容に関するアンケートはクラス別に集計し、カリキュラムに関するアンケートは回答者全員分をまとめて集計した。

授業内容に関するアンケートは、いずれのクラスにおいても、基本的には科目ごとに実施したが、同一の教科書（『みんなの日本語 初級』）を使用した科目（初級クラス「文法」、「聴解」、「会話」、「語彙・表現」）についてはまとめて実施した。

以下、表4に前期初級クラス、表5に前期中級クラス、表6に前期上級クラス、表7に後期初級クラス、表8に後期中級クラス、表9に後期上級クラスの授業内容のアンケート集計結果をまとめた。授業内容に関するアンケートでは、中級、上級クラスについては、1人の学生が複数の授業科目に答えているため、括弧内の人数はいずれも延べ人数を表す。評点は5段階評価で、値が大きいほど良い評点であることを示す。「とてもよかった」を5点、「よかった」を4点、「ふつう」を3点、「あまりよくなかった」を2点、「ぜんぜんよくなかった」を1点として、その平均点を出したものである。

カリキュラムに関するアンケート調査は、1人の学生が1回のみ回答することになっている。表10に前期、表11に後期の結果をまとめた。

なお、自由記述については一部英語での回答もあったが、筆者が日本語に翻訳した。また、日本語の表記や助詞等の間違いは修正して掲載した。

表4 前期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果（回答者11人）

質問項目（回答者数）	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった（3人） よかった（6人） ふつう（2人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内容は豊富になったほうがいいです。（みんなの日本語）</li> <li>授業内容はおもしろいと思います。（文字・漢字）</li> </ul>
2. 授業のレベル とてもよかった（4人） よかった（6人） ふつう（1人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>ときどき速すぎた。（生活日本語）</li> </ul>
3. 授業の進度 ちょうどよかった（2人） よかった（6人） ふつう（0人） あまりよくなかった（2人） ぜんぜんよくなかった（0人） 無回答（1人）	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>復習の時間をもっとあったほうがいい。（生活日本語）</li> <li>遅すぎた。（生活日本語）</li> <li>速すぎた。（生活日本語）</li> </ul>
4. 教科書・プリント とてもよかった（3人） よかった（6人） ふつう（1人） あまりよくなかった（1人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習がよくなかった。（生活日本語）</li> <li>整理の資料があったほうがいいです。（みんなの日本語）</li> <li>よかったですが、教材はちょっと簡単です。（文字・漢字）</li> </ul>
5. 教え方 とてもよかった（7人） よかった（4人） ふつう（0人） あまりよくなかった（0人） ぜんぜんよくなかった（0人）	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>いいと思います。（みんなの日本語）</li> <li>先生の教え方はおもしろいと思います。（文字・漢字）</li> </ul>

6. どのぐらい出席したか 80%～100% (11人) 60%～80% (0人) 40%～60% (0人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (3人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (2人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (3人): 旅行のため、国へ帰りました、実験があった
7. 予習・復習をしたか かなりした (4人) すこした (7人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	・習った文法についての筆記テストがあれば役に立ったと思う。そうすればもっと勉強した。(生活日本語) ・復習は必要です。(みんなの日本語) ・予習と復習は必要です。(文字・漢字)

その他

- ・コースは留学生にとってとても役に立った。もし可能なら、日本人学生と留学生の間での短い対話などが提供されるといいと思う。(生活日本語)
- ・日本語は私たち外国人にとって少し難しいが、先生や教え方はとてもいいと思う。(生活日本語)
- ・このような形で日本語の基礎を学べて感謝している。このクラスに出席できてとてもよかった。(生活日本語)
- ・ことばの練習がもっと多かったらいいと思います。(文字・漢字)

表5 前期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 11人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (10人) よかった (1人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.9	・先生方はみんな勤勉で、今までいろいろな文法の点がわかるようになってきて、うれしいです。心から感謝しております。(文法A) ・いろいろな資料を勉強して、いろいろな話をする、新しいことばと情報がわかるようになっていくと思います。(文法B) ・先生方は、みんなきびきびと機敏で、すべての授業は楽しかった。(文法B)
2. 授業のレベル ちょうどよかった (7人) よかった (2人) ふつう (1人) あまりよくなかった (1人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	・難しすぎた。(漢字)
3. 授業の進度 ちょうどよかった (4人) よかった (7人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	
4. 教科書・プリント とてもよかった (4人) よかった (7人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	
5. 教え方 とてもよかった (11人) よかった (0人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	5.0	・先生は新しい語彙を教えてください、とても良かったです。(文法B) ・先生の教え方は良かったです。(聴解) ・先生の教え方は良かったです。(会話)

6. どのくらい出席したか 80%～100% (6人) 60%～80% (2人) 40%～60% (3人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (6人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (0人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (3人): 眠かったから、難しいですから
7. 予習・復習をしたか かなりした (5人) すこした (5人) ぜんぜんしなかった (0人) 無回答 (1人)	—	

その他

- ・もっと練習があればいいと思います。(文法B)
- ・上級クラスで、副島先生、松岡先生、続けて教えてください。(文法B)
- ・漢字の授業でいろいろな方法を使って、ゲームなど、だから勉強しやすかったです。どうもありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。(漢字)

表6 前期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者 62人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (47人) よかった (14人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強になりました。すばらしかったです。授業内容がおもしろくて、楽しんでいます。(読解A)</li> <li>・いろいろなテーマがあったから、新しい言葉をたくさん学びました。(読解B)</li> <li>・先生の授業はおもしろくて、読解の技術がだんだん上手になりました。ありがとうございました。読解の授業は、1級、2級試験の読解練習もあるほうがいいと思う。(読解B)</li> <li>・読んだ文章はとても興味深かった。(読解B)</li> <li>・自分の修論を完成させるために役に立つ。(作文)</li> <li>・論文に使う言葉、序論、本論、考察、結論などの書き方がとてもいいと思う。(作文)</li> <li>・とても役に立ちました。(作文)</li> <li>・先生はいつも真面目に教えてください。心より感謝しております。(作文)</li> <li>・いろいろな形式のスピーチを聞きたい。(卒業式、弁論大会、送別会など)(聴解)</li> <li>・ビデオを使用した授業は、テーマも面白く、見るのが楽しかったです。(聴解)</li> <li>・面接を受ける時、交通事故に遭った時などのいろいろな場面の会話を練習しました。(会話)</li> <li>・N1の文法はおもしろい。(文法)</li> <li>・N1の文法はかなり難しいですが、この授業は能力試験に合格するため、もちろん役に立つ。(文法)</li> <li>・敬語の勉強はとても大事だと思う。(表現技術)</li> <li>・これからの生活や仕事に大きく役立つ内容でありがたいです。(表現技術)</li> <li>・敬語、発表とスピーチについて勉強した。この知識は大きな役に立つと思う。(表現技術)</li> <li>・この授業で受けた知識はふつうの生活で役に立つと思います。特に発表するスキルや、敬語の使い方です。(表現技術)</li> <li>・今学期の文化の授業、ありがとうございました。この授業で教えてもらった文化についての全部の知識が日本での生活に役に立ちます。(日本文化)</li> <li>・先生はたくさん日本について面白い話題をみんなと一緒に相談して、クラスはとても楽しいです。(日本文化)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業で、日本文化の一部、特に日本人にとって当たり前のことが少しわかるようになりました。また、前から知っていたことを違う角度で見ることができたので、日本文化の世界は広まったと思います。(日本文化)</li> <li>とてもよかった。しかし、カリキュラムの連続性が必要だと思います。いきなり憲法の話から次の授業ではアニメなどの話は少し複雑な気分(?)でした。(日本文化)</li> <li>1コマの授業時間内に更に内容が豊富であつたらいいなあと思いました。グループ分けはある程度学生の意思尊重の上で行ったらよい効果が出ると思います。(日本文化)</li> <li>とてもおもしろかったです。もっと多く勉強したくなります。(日本文化)</li> <li>日本文化について各側面から勉強した。(日本文化)</li> </ul>
<p>2. 授業のレベル</p> <p>ちょうどよかった (36人)</p> <p>よかった (25人)</p> <p>ふつう (1人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>私の現在のレベルにちょうどよかったと思います。いろいろな学んだことを思い出しました。いい勉強になりました。(読解A)</li> <li>文法や言葉や表現、全部含まれている。勉強になった。(作文)</li> <li>大体よかったが、かなり難しい部分もありました。(聴解)</li> <li>私にとってちょっと難しいです。(聴解)</li> <li>時にはレベルがちょっと低かったですが、ビデオを使用した授業はちょうどよかったと思います。(聴解)</li> <li>レベルはちょうどよかったと思う。(文法)</li> <li>元々分かっていた内容もあったが、新しい表現もたくさん学ぶことができた。(文法)</li> <li>説明を聞いて、問題を解いてみても、分からない部分もあったし、かなり難しかったです。(文法)</li> <li>教科書は「N1」についてですが、能力試験の問題との関係が少なくていいです。しかし、日本語能力を上げることができた。(文法)</li> <li>自分の日本語能力がまだ足りないと思う。私にとって授業はちょっと難しいです。(日本文化)</li> <li>ちょうどよかったと思う。(日本文化)</li> </ul>
<p>3. 授業の進捗</p> <p>ちょうどよかった (42人)</p> <p>よかった (18人)</p> <p>ふつう (2人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>適当な速さで学びやすいです。(読解A)</li> <li>私たちのレベルに応じて進んでいる。(作文)</li> <li>時々、ある内容にかかった時間が長すぎます。学生の参加意欲に障るのではないかと心配があります。(日本文化)</li> <li>もっと速く進んでも大丈夫だと思います。(日本文化)</li> <li>ちょうどよくて、理解しやすい。(日本文化)</li> <li>授業の速さをだいたい自分で決めたので、ちょうどよかったと思います。(漢字)</li> <li>ちょっと速いと思います。(漢字)</li> </ul>
<p>4. 教科書・プリント</p> <p>とてもよかった (42人)</p> <p>よかった (18人)</p> <p>ふつう (2人)</p> <p>あまりよくなかった (0人)</p> <p>ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすかった。(作文)</li> <li>論文や作文にとっても役立っています。(作文)</li> <li>説明はとても詳しくて、いい教材だ。(文法)</li> <li>教材の文法は実際の試験の文法との関連があまり多くない。(文法)</li> <li>具体的な内容なので、普段気づかなかつた自分のミスを直すことができました。とてもよかったです。(表現技術)</li> <li>内容は詳しい。特に敬語の教材はおもしろい。(表現技術)</li> <li>授業でもらった教材もよかったです。(日本文化)</li> <li>データや調査結果を含む教材はとてもわかりやすい。内容も豊かだと思う。(日本文化)</li> <li>今期は教科書をあまり使わず、興味深い文章を読んだので楽しかったです。(漢字)</li> <li>教科書にさまざまな分野があつたので、私の語彙の範囲をのばせて、うれしいです。漢字が好きなので、もっとがんばりたいと思います。(漢字)</li> </ul>

<p>5. 教え方  とてもよかった (50人)  よかった (12人)  ふつう (0人)  あまりよくなかった (0人)  ぜんぜんよくなかった (0人)</p>	<p>4.8</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 上手です。先生の授業に出ることができまして、うれしかったです。(読解A)</li> <li>• 先生の授業はおもしろくて、読解の方法も詳しく説明しました。そして、自分が他の文章を読むときに、だんだん上手になりました。ありがとうございます。(読解B)</li> <li>• わかりやすかった。(作文)</li> <li>• すばらしい先生だと思います。すごく感謝しています。(作文)</li> <li>• 先生はとても真面目で、私たちの作文を修正してくれた。良い先生です。(作文)</li> <li>• どこが問題なのか指摘してくれて、また、はげましてくれてありがとうございます。(会話)</li> <li>• 先生のおかげで、日本語が徐々に上達しています。すごく感謝しています。(会話)</li> <li>• 教科書だけでなく、いろいろな練習問題も出してくださって大変勉強になった。(文法)</li> <li>• 優しく、学生の声全て聞いて下さってよかった。(文法)</li> <li>• 文法は予習や復習をしなければならぬので、かなり難しかったです。でも、分からないことがあって、質問すると、詳細に説明してくれるので大丈夫でした。(文法)</li> <li>• 先生はとても丁寧に教えてくださって、心から感謝しております。(表現技術)</li> <li>• 授業でいろいろな問題についてのディベートみたいな議論がとてもおもしろかったです。ありがとうございます。(日本文化)</li> <li>• 先生の視野が広くて、新しい考え、新しい視点を教えていただきました。(日本文化)</li> <li>• 一方的な授業方式ではなく、自由な雰囲気での自分の意見などを話せて本当によかったと思います。授業を結構休んでしまっして申し訳ありません。(日本文化)</li> <li>• 先生の考え方や意見を聞くたび、いつも敬服してしまいます。(日本文化)</li> <li>• 深いテーマをわかりやすく提起してくださって、いつも勉強になりました。先生のおかげで、内容だけでなく、思考の方法などもいろいろ学びました。(日本文化)</li> <li>• ビデオを放送し、その内容を説明しながら、授業をするやり方はとてもいいと思う。(日本文化)</li> <li>• 私が気がつかなかった漢字や言い回しの意味を指摘してもらったことがとても役立ったと思います。(漢字)</li> </ul>
<p>6. どのくらい出席したか  80%～100% (54人)  60%～80% (5人)  40%～60% (3人)  20%～40% (0人)  0%～20% (0人)</p>	<p>—</p>	<p>欠席した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 専門の授業やゼミがあったから (8人)</li> <li>• アルバイトがあったから (0人)</li> <li>• 病気のため (3人)</li> <li>• その授業に興味なかったから (0人)</li> <li>• その他 (2人): 天気・体調, 寝坊した</li> </ul>
<p>7. 予習・復習をしたか  かなりした (25人)  すこした (36人)  ぜんぜんしなかった (1人)</p>	<p>—</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 予習しないと、進められないかもしれない。(作文)</li> <li>• この授業は論文を書く時に非常に助かりました。(作文)</li> <li>• 予習ができない。復習をした。(聴解)</li> <li>• 短期交換留学生にとって、留学期間が短くて、発表の機会も少ないですから、毎回の会話と発表の前に、よく準備しました。(会話)</li> <li>• 勉強した内容を復習するのは大切だ。(文法)</li> <li>• なるべく全部の勉強したことを復習した。(文法)</li> <li>• 敬語の勉強だから、復習はとても大切だと思う。(表現技術)</li> <li>• 特に、予習や復習の必要がなかったと思います。(日本文化)</li> <li>• 授業で扱いきれない内容、補充知識、読み物は宿題にしています。学生の負担にならないように今までのおもしろい内容のものがよかったと思います。(日本文化)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の内容は、授業中に把握するように頑張った。(日本文化)</li> <li>・復習しないと、すぐ忘れてしまいます。(漢字)</li> </ul>
--	---

その他

- ・この授業が面白くて、たくさん学びました。読書の能力をのばせてうれしいです。今、自分の語学力にもっと自信があります。(読解A)
- ・面白かったです。役に立つと思います。(読解B)
- ・読解Bの授業はちょうど良かったです。毎週の授業で今の日本の状況についてのテキストを読みましたので、役に立ったと思います。(読解B)
- ・ありがとうございました！(読解B)
- ・前は、なんとなく文章を読んで、自分の感覚だけでその意味がわかったのですが、この授業で正しくかつ速く読む技術を身につけたと思います。(読解B)
- ・またとりたい。(作文)
- ・作文の書き方がとても勉強になりました。(作文)
- ・このコースに感謝します。(作文)
- ・作文を書くときは重要なので、先生からいろいろな基礎知識を学んだ。来学期に先生の授業も受けたいと思う。(作文)
- ・ただ日本語能力試験を目指して問題を解くだけではなく、色々なジャンルの聴解ができて楽しかったし、すごく役に立ちました。(聴解)
- ・聴解の内容の中にいろいろな形式のスピーチを加えていただけませんか。例えば、卒業式の代表、弁論大会、送別会などのビデオ。(聴解)
- ・後期と前期どちらも会話の授業を取りましたけど、先生のおかげで話すのがしやすくなりました。(会話)
- ・良いコースだ。楽しかった。(会話)
- ・国であまり日本語を話す機会がなかったため、日本へ来てから最初はつらかったが、この授業で学んだことが助けになりました。日常生活にも役に立つと思います。(会話)
- ・能力試験の問題の中にある文法についての文法を加えたほうがもっといいと思う。(文法)
- ・授業で学んだ内容は日常生活に役に立つに違いありません。この知識を生かしたいです。(表現技術)
- ・先生のおかげで、いろいろ勉強になりました。感謝しています。(表現技術)
- ・この授業はよかった。たのしかった。(日本文化)
- ・この授業は、日本のアニメ、富山の観光地、草食男、日本憲法などいろいろな内容が含まれています。最初は「日本文化」ということは実際にどんなものか詳しく説明することはできませんでした。実は今もできません。でも、いろいろ日本の面白いことを見たあとで、日本人の価値観、日本人の生活はいくらか理解できるようになりました。(日本文化)
- ・あっという間に今学期の日本文化の授業も終わりました。先生はいつも私たちに個の成長・個としての考え方を培わせるように工夫しています。感謝の気持ちでいっぱい、この留学の1年間、日本文化の授業を受けて本当によかったと思っています。これから、もう先生の講義を聞くことがなくなることは残念に思っています。私たち一人一人の存在を対等に尊重してくださって、ありがとうございました。(日本文化)
- ・この1年間、本当にありがとうございました。先生の授業が大好きです。(日本文化)
- ・日本文化の豊かさがよくわかった。これからも日本文化についてもっと勉強したいと思う。(日本文化)
- ・帰国のせいで、後期の授業に出られなくなるのが残念に思います。(漢字)
- ・漢字の授業の資料や先生の教え方は本当によかったです。全部の受けた知識は私たちの役に立ちます。(漢字)

表7 後期初級クラスの授業内容についてのアンケート結果 (回答者8人)

質問項目 (回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (5人) よかった (2人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よかったけど、少し意見があります。勉強の中で、日本語の映画とかゲームとかあったら、もっとよくなると思います。(みんなの日本語)</li> </ul>

2. 授業のレベル とてもよかった (5人) よかった (3人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	
3. 授業の進度 とてもよかった (5人) よかった (3人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	
4. 教科書・プリント とてもよかった (5人) よかった (3人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	・別の教材(読み物, 新聞, 雑誌)が少し入ったらいいと思う。 (みんなの日本語)
5. 教え方 とてもよかった (6人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	・先生は全員まじめだし, 親切だし, 勉強する中でとてもうれしかったです。(みんなの日本語)
6. どのぐらい出席したか 80%~100% (3人) 60%~80% (5人) 40%~60% (0人) 20%~40% (0人) 0%~20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (3人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (1人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (3人):実験があったから (2人), 11月に来ました (1人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (1人) すこしした (4人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	・楽しく勉強できたら, 学ぶことや生活することなどに何よりいいです。(みんなの日本語)

その他

- ・私は本当に日本語を上手に話せるようになりたいですが, 研究のために十分な時間が取れません。先生方の尽力に感謝しています。(生活日本語)
- ・今のままで, 少しだけ直して授業したらいいと思います。先生方に感謝しています。これからもよろしくお願いします。(みんなの日本語)

表8 後期中級クラスの授業内容についてのアンケート結果(回答者10人)

質問項目(回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (6人) よかった (4人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	・とても役に立ちます。(聴解)

2. 授業のレベル ちょうどよかった (3人) よかった (7人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.3	
3. 授業の進度 ちょうどよかった (3人) よかった (5人) ふつう (2人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.1	
4. 教科書・プリント とてもよかった (7人) よかった (2人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	
5. 教え方 とてもよかった (8人) よかった (2人) ふつう (0人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.8	
6. どのぐらい出席したか 80%～100% (4人) 60%～80% (0人) 40%～60% (2人) 20%～40% (4人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (8人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (1人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (0人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (6人) すこしした (4人) ぜんぜんしなかった (0人)	—	

その他

- ・この授業は全部のレベルがいっしょに勉強しますから、先生はとても大変だと思います。そして、留学生のほうは少なくともこの漢字クラスは続けたいと思っています。日本語で論文を書くために漢字が大切です。先生、よろしくお願いします。(漢字)
- ・先生のおかげです。今大体漢字の読み方が分かるようになってきました。(漢字)

表9 後期上級クラスの授業内容についてのアンケート結果(回答者51人)

質問項目(回答者数)	評点	自由記述
1. 授業内容 とてもよかった (29人) よかった (21人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・この授業を受ける前は読解が嫌いだったが、今は好きになりました。(読解A)</li> <li>・教科書はさまざまな分野を扱うので、いい勉強になったと思います。(読解A)</li> <li>・ちょうどいい。(読解A)</li> <li>・授業は本当に良かったです。12月に行われた試験で役に立ったと思います。(読解A)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• この授業で読解の能力をのばすことができましたので、よかったですと思います。(読解A)</li> <li>• 授業がすばらしかった。(読解A)</li> <li>• 論文の書き方が分かるようになりました。すごく役に立つと思います。(作文)</li> <li>• 毎週の授業で論文についての書き方を少しずつ教えていただいて、論文の進め方は大体分かりました。これまで習ったことはこれから論文を書くことに役立つと思います。(作文)</li> <li>• レポートの書き方について詳しく教えてもらったので、修了論文を書くのに力になると思います。(作文)</li> <li>• 授業でした練習のおかげで聴解だけではなく、日本の文化や言語力を伸ばすことができたと思います。(聴解)</li> <li>• いろいろなビデオがあって、多様な分野が扱われましたので、いい勉強になりました。(聴解)</li> <li>• ビデオやテープを聞いて、日本語を聞き取る能力が向上できると思う。また内容的にも面白くて勉強になった。(聴解)</li> <li>• 外国人が日本語を勉強するのに力になります。(聴解)</li> <li>• 役に立つと思う。(会話)</li> <li>• 日本語の学習のほかにいろいろ考えさせられた。勉強になると思う。(会話)</li> <li>• この授業を通して、自分の日本語能力が上達したように感じました。様々な話題をめぐって、皆と一緒に話し合ったり、議論したりして、他人の意見を受け取ることができました。要するに、この授業を取ったのはよかったです。先生、本当にありがとうございます。(会話)</li> </ul> <p>4.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 勉強した表現の大部分を知っていましたが、難しい文法は忘れやすいものなので、もっと得意になったり、文法を覚えたりするために、文法の授業内容はとてもよかったですと思います。(文法)</li> <li>• 日本人の先生に敬語などを習うのは本当によかったです。日本に来る前にずっと悩んでいた敬語の使い方がわかるようになってきたと感じます。本当にありがとうございました。(表現技術)</li> <li>• いろいろな社会的なことばを勉強することができてよかったです。同性愛や草食男子などです。(日本文化)</li> <li>• 日本文化の授業で取り上げた話題はすごく面白いと思う。格差問題やジェンダーなど意味深いテーマについていろいろ話し合って考えさせられて、はじめて違う立場から考え直すことができる。特に先生に質問された時、今まで考えなかったこともあるから、それは新しい知識を得るのにいいきっかけになると思う。(日本文化)</li> <li>• 日本だけの問題ではなく、世界的な問題までつながる内容だったと思う。(日本文化)</li> <li>• 毎回、授業のテーマは面白かったです。自分の意見を述べる機会も多かったので、自分の意見を述べたり、他の学生の意見を聞いたりしたのは、異文化を理解するためにいいと思います。(日本文化)</li> <li>• 授業内容は社会的なものですので、面白かったと思います。興味を持つようになりました。(日本文化)</li> <li>• いろいろなテーマの中で、草食系男子のテーマがおもしろくて、関連映像をもっと見たかった。(日本文化)</li> </ul>
--	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>この授業で社会文化や問題をめぐって皆と一緒に議論しました。知らず知らずのうちに問題意識を養いました。これは今後の人生にも役立ちます。また、ロシアや韓国の学生さんと一緒にこの授業を取って、国際的視野を広げました。いろいろ勉強になりました。本当によかったと思います。ありがとうございました。(日本文化)</li> <li>この授業で様々な分野の文章を読みながらたくさんの漢字を学んで、語彙の知識を広げられたと思います。読解力を養うために非常に役に立ちました。(漢字)</li> <li>日常生活の言葉も専門用語も勉強して、役に立つと思います。言葉の正しい使い方もいい勉強になりました。(漢字)</li> <li>この授業は、私にとって2回目にとった漢字の授業ですが、前回と今回、両方ともよかったです。(漢字)</li> </ul>
2. 授業のレベル ちょうどよかった (24人) よかった (25人) ふつう (2人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>適当だと思われる。(読解A)</li> <li>難しいところがあるにはありましたが、簡単すぎたら勉強にならないと思うので、授業で難しい点は確かに役に立ったと思います。(日本文化)</li> </ul>
3. 授業の進度 ちょうどよかった (24人) よかった (25人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (1人)	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れた。(読解A)</li> <li>グループに分けてするのがよくなかったです。(漢字)</li> </ul>
4. 教科書・プリント とてもよかった (21人) よかった (29人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書はよかった。前に私は自分で勉強するために他の教科書を使っていたが、今の授業の教科書のほうがもっとよかった。(読解A)</li> <li>内容が豊富でためになる。(読解A)</li> <li>ビデオを通して日本の文化がもっと学べました。(聴解)</li> <li>見たビデオの内容がとてもおもしろかったと思う。(聴解)</li> <li>内容は面白い。(会話)</li> <li>様々な映像資料を見せてもらってとてもよかったと思う。(日本文化)</li> </ul>
5. 教え方 とてもよかった (32人) よかった (18人) ふつう (1人) あまりよくなかった (0人) ぜんぜんよくなかった (0人)	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>とてもやさしい先生です。いろいろ教えてくださってありがとうございます。(読解A)</li> <li>教え方が上手な上に親切である。(読解A)</li> <li>分からない文法や言葉の正しい使い方の説明は分かりやすかったです。そして、似ている表現の微妙な差も分かるようになりましたから、先生の教え方はとてもよかったと思います。(文法)</li> <li>いつもおもしろくて深くて社会的な話をするので、よかったです。(日本文化)</li> <li>グループごとに話す機会が多くてよかったと思う。(日本文化)</li> <li>先生の教え方はよかったですけど、グループごとに分けて授業をするところがよくなかったです。グループ練習はあまり役に立たなさそうです。(漢字)</li> <li>同じ教室でいろいろなレベルの学生がいたけれども、先生はよくがんばったと思います。(漢字)</li> </ul>

6. どのくらい出席したか 80%～100% (42人) 60%～80% (4人) 40%～60% (5人) 20%～40% (0人) 0%～20% (0人)	—	欠席した理由 ・専門の授業やゼミがあったから (6人) ・アルバイトがあったから (0人) ・病気のため (8人) ・その授業に興味がなかったから (0人) ・その他 (3人): 寝坊 (2人), 卒業論文を書くため (1人)
7. 予習・復習をしたか かなりした (23人) すこした (26人) ぜんぜんしなかった (2人)	—	・できるだけ時間があつたときに復習した。(読解A) ・日本語能力試験にいい練習でした。(読解A) ・予習が必要だ。(読解A) ・事前に話す材料を探すために、インターネットで色々調べて、よかったです。(会話)

その他

- ・私は忍耐強く、親切なよい先生のいるこのコースが好きです。(読解A)
- ・ありがとうございます。(聴解)
- ・ありがとうございます。(文法)
- ・ありがとうございました。(漢字)

表 10 前期のカリキュラムについてのアンケート結果 (回答者 29 人)

1. 日本語課外補講をどこで知ったか (複数回答)	オリエンテーション出席者 (19人)  オリエンテーション欠席者 (10人)	・オリエンテーションの掲示を見た (5人) ・学部の教員にきいた (3人) ・留学生センターの教員にきいた (6人) ・友だちにきいた (4人) ・学部の教務課できいた (2人) ・学部の教員にきいた (2人) ・留学生センターの教員にきいた (3人) ・友だちにきいた (3人) ・学部の教務課できいた (1人) ・よく知っている (1人)
2. 授業科目数の希望	今のままでいい (22人): 初級3人, 中級5人, 上級14人 多くしてほしい (7人): 初級 (生活日本語) 5人…週に1時間半では十分でない, 2時間だといい, 初級 (みんなの日本語) 1人…「会話」を多くしてほしい, 上級1人…「日本文化」, 「聴解」を多くしてほしい	
3. 授業科目の希望	今のままでいい (24人): 初級6人, 中級4人, 上級14人 新しい科目を作ってほしい (5人): 初級 (生活日本語) 2人…会話, 会話と習った文法の練習 中級2人…作文 上級1人…できれば留学生の就職のため, 面接でよく使われる日本語の指導をしてもらえませんか?	
4. 来期の授業時間帯の希望	専門の時間割がわからないのでこたえられない (17人): 初級4人, 中級3人, 上級10人 午前1・2限 (5人): 初級2人, 中級1人, 上級2人 午後3・4限 (1人): 中級1人 いつでもいい (5人): 初級2人, 上級3人 その他 (1人): 初級1人…次の期は日本にいない。	

その他

- ・先生方はよかったです。問題は、授業が他のキャンパスで行われていて、1週間に1回しかないことだ。このため、私にとっては少し速すぎた。(初級 生活日本語)

- コースはとてもよかったが、1度で日本語のルールなどすべて理解することはできない。(初級 生活日本語)
- 10月からも参加したいが、今はまだスケジュールがわからない。日本に適應するのにとても重要だし、自分の研究や日本人学生との交流にとっても役に立つ。(初級 生活日本語)
- 日本語のクラスの後、たくさんの実験があったため、日本語の復習をする時間がなかった。クラスの中でもっと復習の時間があつたらいいと思う。(初級 みんなの日本語)
- 会話の時間が多くなったほうがいいです。(初級 みんなの日本語)
- テストの記録がほしいです。自分の評価をするためです。(中級)
- 教科書 J 301 と J 501 の練習がもっとあればいいと思います。(中級)
- ありがとうございます。(上級)
- 日常生活で使う文法や論文やレポートを書くとき使う文法を教えてください。(上級)
- 今学期の授業は本当に面白くて、たくさん学びました。将来に役に立つと思っています。(上級)
- 今、上級クラスに通っています。次の期もまた受けたいたのですが、受けられる授業科目がなさそうです。(上級)

表 11 後期のカリキュラムについてのアンケート結果 (回答者 19 人)

1. 日本語課外補講をどこで知ったか (複数回答)	<p>オリエンテーション出席者 (13 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•オリエンテーションの掲示を見た (6 人)</li> <li>• 学部の教員にきいた (4 人)</li> <li>• 留学生センターの教員にきいた (2 人)</li> <li>• 友だちにきいた (1 人)</li> <li>•オリエンテーションの掲示を見た (1 人)</li> </ul> <p>オリエンテーション欠席者 (6 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 学部の教員にきいた (1 人)</li> <li>• 留学生センターの教員にきいた (3 人)</li> <li>• 友だちにきいた (1 人)</li> </ul>
2. 授業科目数の希望	<p>今のままでいい (16 人) : 初級 5 人, 中級 3 人, 上級 8 人          多くしてほしい (3 人) : 初級 (生活日本語) 1 人, 中級 2 人…文法, 漢字</p>
3. 授業科目の希望	<p>今のままでいい (18 人) : 初級 6 人, 中級 4 人, 上級 8 人          新しい科目を作ってほしい (0 人)          その他 (1 人) : 中級 1 人…J301 はよかった。J501 はむずかしかったです。</p>
4. 来期の授業時間帯の希望	<p>専門の時間割がわからないのでこたえられない (7 人) :          初級 2 人, 中級 3 人, 上級 2 人          午前 1・2 限 (1 人) : 上級 1 人          午後 3・4 限 (0 人)          いつでもいい (5 人) : 初級 2 人, 中級 1 人, 上級 2 人          その他 (6 人) : 初級 2 人…指導教員と相談してみます。晚でもいいと思う。          中級 1 人…帰国します。 上級 3 人…帰国します。</p>

その他

- 前の学期も今学期もいろいろな授業科目を取って、私の日本語力の上達に大変重要な役割を果たしました。(上級)
- いろいろな経験になりました。量の歴史や和菓子の歴史などの映像を見たのが良かったです。(上級)
- よい勉強になりました。(上級)

まず、各クラスの授業内容に関するアンケート結果については、全体の 7 割が 4.5 点以上となっており、概ね良い評価を得ていると言ってよいだろう。

数は少なかったが、今後のコース改善に向けての検討材料とするために、「あまりよくなかった」、「全然よくなかった」という回答を詳しく見ておきたい。「よくなかった」という回答は、前期については初級クラスの授業進度と教科書、中級クラスの授業のレベルで、後期については上級クラスの授業進度で見られた。

前期の初級クラスの授業進捗については、「生活日本語」で「あまりよくなかった」という回答者が2人いた。1人は遅すぎたこと、もう1人は速すぎたことを理由に挙げていた。前期の初級クラスの教科書については、「生活日本語」で「あまりよくなかった」という回答者が1人いた。その理由として「練習があまりよくなかった」ことを挙げていた。前期の中級クラスの授業のレベルについては、「漢字」で「あまりよくなかった」という回答者が1人いた。難しすぎたことを理由に挙げていた。後期の上級クラスの授業進捗については、「漢字」で「全然よくなかった」という回答者が1人いた。その理由として「グループで分けてするのがよくなかった」と述べていた。「漢字」は中級クラスと上級クラスの合同授業のため、レベル別に2～4のグループに分けて、それぞれのレベルに応じた教材を用いて複式で授業を行っている。2012年度は前期が3グループ、後期が4グループで、グループ数が多かったため、各グループへの対応が十分にできていなかった可能性が高く、そのため「グループで分けてするのがよくなかった」という意見が出たものと思われる。前期の「生活日本語」と「漢字」、後期の「漢字」は、いずれも受講者数がいつもの期と比べて多く、受講者間の習熟度の差が大きかった。このことが、レベルや授業進捗へ不満を抱く学生がいた一番の要因だろう。

次に、カリキュラムに関するアンケート結果を見ると、これまでと同様、日本語課外補講に関する情報は、オリエンテーションの掲示を見て知ったという回答と、教員や友人からきいたという回答が多かった。また、授業時間帯については、「専門の時間割がわからないのでこたえられない」という回答が最も多かったが、午前と午後では、午前を希望する学生のほうが多かった。授業科目数や内容については「今のままでいい」という回答がいずれの期も最も多かったが、前期、後期ともに初級クラス「生活日本語」で授業科目数を多くしてほしいという要望が見られた。

## 8 おわりに

日本語研修コースとの合同授業化によって、日本語課外補講の学生もより多くの科目を受講できるようになった。しかし、受講者の日本語の習熟度にはかなりばらつきが見られ、また、日本語課外補講の受講者の中には、専門の学習や研究が忙しくて継続的に参加できない学生もいるため、授業期間中に受講者間の習熟度の差が広がってしまうこともある。この問題を少しでも軽減するため、2013年度からこれまで日本語研修コースの学生のみを対象としていた中級クラス「文法C」、「漢字」を、日本語課外補講の学生も受講できるように変更した。今後も他の日本語プログラムと連携しながら、より良いコース運営のありかたを探っていきたい。